

授業科目	* 地域連携協働支援論				単位	1		
履 修	必修	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU21501J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP2-1 DP3-2			
担当教員	吉原 悦子							
授業概要	【実務家教員担当科目】 地域で生活するあらゆる年代の人々のいのちと健康を支援するため、地域特性を把握し、看護が提供される暮らしの場を理解する。地域包括ケアシステムについて理解を深め、保健、医療、福祉、教育の専門職の連携・協働のあり方を考えその中で期待される看護の役割を考察する。							
学生が達成すべき行動目標	1.地域で生活する様々なライフサイクル、健康レベルにある人々の健康と生活について理解することができる。 2.地域包括ケアシステムの概念と背景について理解できる。 3.地域包括ケアシステムにおける多様な専門職の役割や連携・協働について理解することができる。 4.地域で生活する様々なライフサイクル、健康レベルの人々の多様なニーズを理解し、看護の機能や役割について考えることができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	40	10	40	0	10	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	20	10	5		2		37	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	10		10		2		22	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)	10		25		6		41	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベルを修得し、さらに地域で生活するあらゆる健康レベルの人々に対して、それぞれの場面において看護のあり方について考えることができる。また、地域包括ケアの一員として社会資源とボランティア、住民活動などの地域の活動を広くとらえ、人々の健康に貢献するために看護が担う割について考えることができる。				看護が求められる多様な場とその特性を理解することができる。その中で自分自身も地域の中の一員であることを自覚しながら、地域包括ケアシステムを理解することができる。また、地域包括ケアシステムにおける多機関・多職種 of 役割や連携・協働について理解できる。				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:地域・生活・健康とは 私たちが実際に暮らしている「地域」。その地域で生活する人々の健康と生活を支えるとはどういうことか概説する。また、地域を見ていく視点について考える。	講義・ワーク	「健康」について既習の内容を予習しておく。 課題①	60
2	テーマ:地域で生活すること 自分の生活を振り返り、これまでに自身が関わった社会資源について考えてみる。	講義・ワーク	普段の生活の中でどんな社会資源があるのか、意識して生活を振り返り、家族に聞く。 課題②	60
3	テーマ:地域を知る 自分の住んでいる地域を知り、生活する上での課題を発見する。また、地域の社会資源がそれぞれのライフステージにある人々にどのように利用できるのか考える。	講義・ワーク	自分の住んでいる地域を探索する。(自然環境や教育、輸送、医療、社会サービスなどについて) 課題③	60
4	テーマ:地域包括ケアシステムの概念と社会背景 地域包括ケアシステムの概略と背景について概説する。	講義	講義内容の復習	30
5	テーマ:保健・福祉・医療に携わる職種の理解 各専門職の機能と役割および職務、教育的背景、社会的背景を学ぶ。	講義・小テスト	保健・福祉・医療に携わる職種について予習をする	30
6	テーマ:地域包括ケアシステムにおける多機関、多職種連携、協働 地域包括ケアシステムにおける多機関、多職種連携、協働について概説する	講義・ワーク	地域包括ケアシステムにおける多機関、多職種連携、協働について予習をする 課題④	60
7	テーマ:地域包括ケアシステムの意義と看護師の役割について 地域で生活するあらゆるライフステージにおいて看護の必要性について概説する。	講義	既習の知識を生かし、看護の担う役割について振り返る	30
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				

18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	健康や医療、社会保障制度等に関連する書物やニュースに関心を持ちましょう。特に地域の催に興味を持ち、どのようなライフステージの方が参加されているのか関心を持ちましょう。地域で生活するに当たり、困っていることや不便に感じていることはないか周囲の方にインタビューをしてみましょう。			
テキスト	必要に応じて講義資料、印刷物を配布します。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高橋紘二:「地域包括ケアシステム」</li> <li>・上田敏:ICF(国際生活機能分類)の理解と活用</li> <li>・秋山正子:つながる・ささえる・つくりだす在宅現場の地域包括ケア</li> </ul>			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	地域で生活する人々に関心を持ちどのような課題と抱えているのかなど、自分の住んでいる地域に目を向け、関心を持って生活をしましょう。また、社会情勢や医療・保健に関するニュースに関心を持ち、現状を把握し、その上で課題が見いだせる力をつけていきましょう。			
達成度評価に関するコメント	試験 40%、小テスト 10%、レポート 40%、レポート外の提出物 10%により評価します。レポートや課題については講義の中で説明します。出席については、毎回出席カードや学習シートを提出してもらいます。			

